

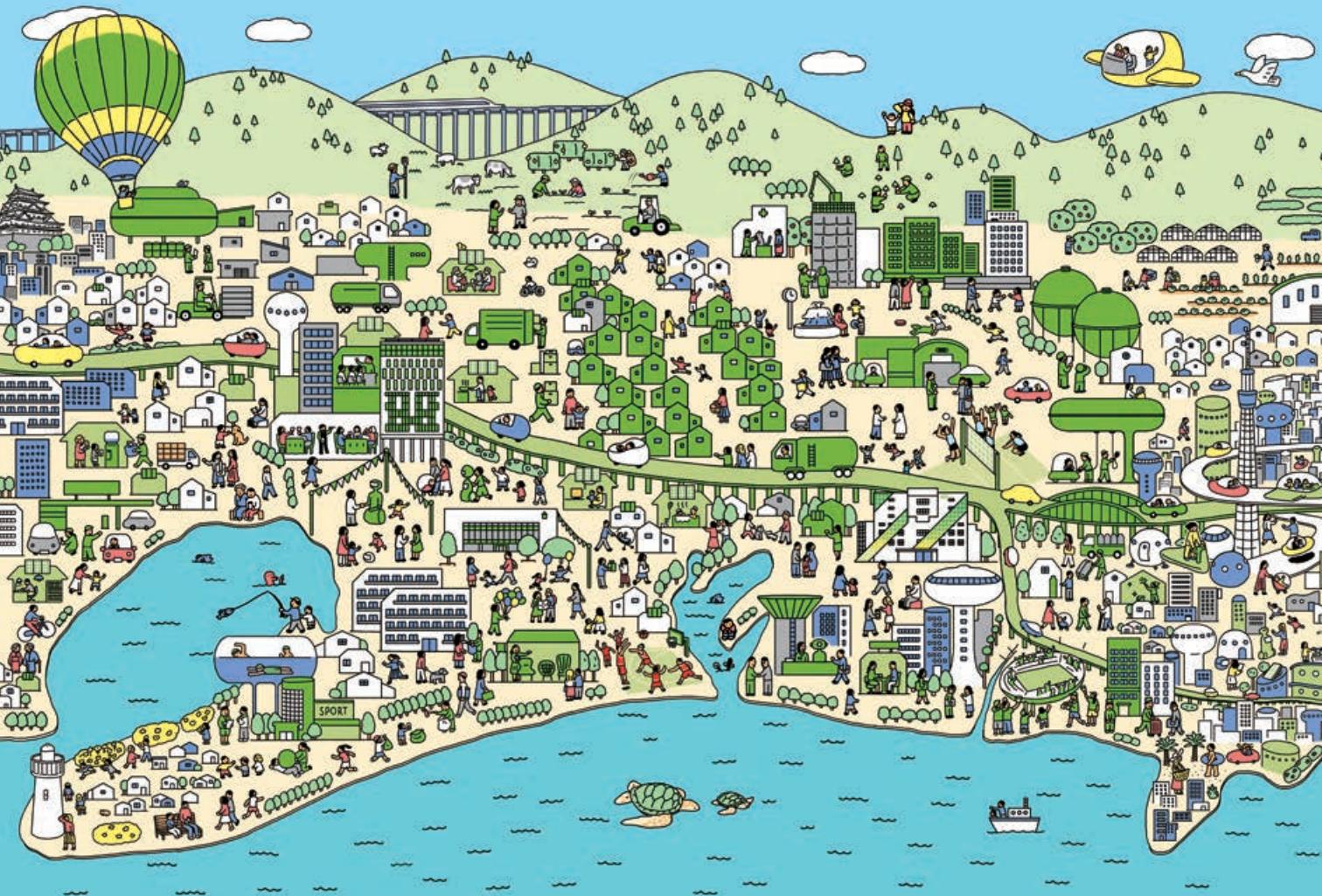
第19期

株主通信

生活にフイノオリティ

sala

2019年12月1日から2020年11月30日まで



証券コード: 2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第19期(2019年12月1日～2020年11月30日)の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

神野 善徳

連結業績ハイライト

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の経済活動が抑制され、企業収益が減少するなど景気は急速に落ち込みました。期間の後半に経済活動が再開されたことに伴い輸出や生産に持ち直す動きがみられたものの、期末にかけて再び感染が拡大し、景気の先行きは予断を許さない状況が続きました。

サーラグループにおきましては、地域のお客さまや従業員の安全のため政府の方針等を踏まえて、在宅勤務や交代勤務の実施により感染拡大の抑制に取り組むとともに、WEBを活用した営業活動に取り組みました。事業への影響につきましては、エネルギー&ソリューションズ事業は工場の稼働率低下などにより既存取引先の業務用、工業用のガス販売量が減少しました。ハウジング事業は営業活動の縮小によりお客さまとの接点機会が減少しましたが、2020年7月以降は従来の営業活動を再開したことに伴い業績は徐々に回復しました。カーライフサポート事業は来店客数の減少などにより商談機会が減少したため、フォルクスワーゲンの新車販売台数

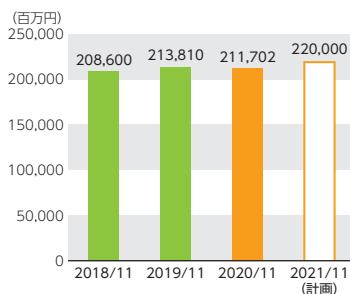
が低調な結果となりました。プロパティ事業は宴会、ブライダルなどホテルの利用客数が大幅に減少したほか、レストランの営業活動の自粛やスポーツクラブの休業が収支に影響を与えました。

当期の経営成績につきましては、上記のとおり新型コロナウイルス感染症の影響がみられたものの、各セグメントにおけるマネジメントの効果が表われグループ全体としましては堅調に推移しました。売上高はエンジニアリング&メンテナンス事業、ハウジング事業及びアニマルヘルスケア事業は増収となる一方で、エネルギー&ソリューションズ事業が減収となったことから前期比

1.0%減の211,702百万円となりました。利益面はエネルギー&ソリューションズ事業及びプロパティ事業は減益となりましたが、その他のセグメントは増益となったため営業利益は5,940百万円と前期比6.9%増加しました。経常利益は営業外収益の為替予約に係るデリバティブ評価益が縮小したため7,357百万円と前期比5.8%減少しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失としてプロパティ事業などにおける事業用資産の減損損失1,370百万円を計上したことにより、前期比28.5%減の3,493百万円となりました。なお、**営業利益は過去最高**を記録しました。

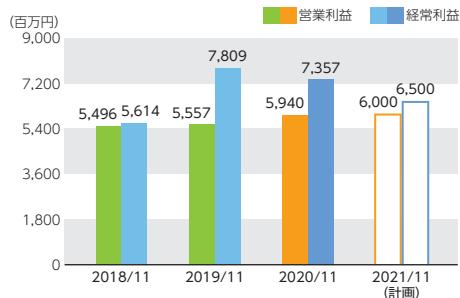
売上高

211,702百万円
(前期比1.0%減)



営業利益

5,940百万円
(前期比6.9%増)
過去最高

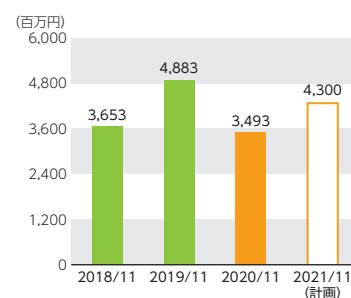


経常利益

7,357百万円
(前期比5.8%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

3,493百万円
(前期比28.5%減)



※2021年11月期(計画)には為替予約に係るデリバティブ評価損益を織り込んでいないため、経常利益は減少する計画となっています。

▶ 連結決算のポイントは9~10ページをご覧ください

サーラグループは2030年ビジョン「私のまちにSALA、暮らしとともにSALA」を掲げ、社会が大きく変化するなかでもお客さまの暮らしやすさを徹底して追求し、安心、安全、快適、便利はもちろんのこと、新しく、楽しい価値の提供を続けることを約束しています。また、お客さま、地域、取引先、株主の皆さまからはサーラブランドが信頼のあかしとなり、社員にとっては最も働きがいのある会社となることを目指しています。

その取組みの第一歩として、現在、グループを挙げて取り組む第4次中期経営計画(2020年11月期～2022年11月期)では、3つの重点課題「暮らしのSALAの新展開」「SALAの浸透」「変革とチャレンジ」についての施策を推進しています。初年度の2020年11月期は新型コロナウイルス感染症の影響により、セグメントごとに業績や施策の進捗度に関きが生じました。このような状況下ではありますが、2年目となる2021年11月期はコロナ禍のなか取組みを優先すべきもの、加速すべきものを選別し、初年度に描いた方向性を変えずに着実に施策を実行します。

重点課題 1**暮らしのSALAの新展開****施策**

ライフクリエイティブ事業ユニット、エネルギーベース事業ユニット及びつなぐ事業ユニットという3つの事業ユニットの役割を整理するとともに、お客さま目線に立ち縦割りや境界線のない事業展開を行うことにより、サーラとしてお客さまのニーズに応えます。

重点課題 2**SALAの浸透****施策**

各事業ユニットのお客さまをグループ全体のお客さまとすることによりお客さまとのつながりを深めます。また、お客さま満足度など初年度に設定した指標に対する施策を展開することにより、質の向上を一層強化します。

重点課題 3**変革とチャレンジ****施策**

グループの持続的成長を支える新たな人事制度の構築に向けて制度の詳細設計を進めます。

「暮らしのSALAの新展開」 ～取組み事例～

サーラプラザ豊川

サーラプラザ豊川は、暮らしのSALAを具現化する拠点として2020年6月にオープンしました。店舗にはエネルギーの地域販社であるサーラE&L東三河(株)、サーラ住宅(株)及び中部ガス不動産(株)の3社のオフィスが同居しています。各社が連携することにより、エネルギー供給から暮らし、住まいに関する総合提案を行っています。また、お客さま情報の共有により複合取引の拡大に取り組み、お客さまとのつながりの強化を図っています。



サーラプラザ豊川

暮らしのSALA実現に向けたデジタル戦略の推進

暮らしのSALAの実現に向けて、マーケティング・プラットフォーム事業の(株)サーラライフスタイルイノベーションとグループのITシステムを統括する(株)サーラビジネスソリューションズを統合することにより、サーラグループ一体となったIT・デジタル戦略を企画し、展開する体制が整いました。各種データの利活用に取り組みほか、サーラの暮らしサービスを一元的に分かりやすく提示するとともに、各種お問い合わせや申込み手続きができるスマートフォン用アプリのリリースなどを計画しています。



スマートフォン用アプリ (2021年4月リリース予定)

BtoBのお客さまの課題解決

(株)リビングサーラは愛知県新城市に本社を置くプラスチック成型メーカーのお客さまとの間で、ショールームやオフィス改修などで15年以上の継続的な取引があります。同社はお客さまが抱えるSDGsへの取組みやコスト削減、BCP対策などの様々なニーズに対して、グループ内のサーラエナジー(株)、サーラeエナジー(株)が推進するゼロソーラーサービス(PPAモデル)がお客さまの課題解決につながると考え、3社で共同営業に取り組み成約に至りました。

サーラのゼロソーラーサービス

1. 初期費用なし

初期費用なしで太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーを使用(※設置した太陽光発電からの電力購入が条件)

2. 電気代のメリット

太陽光発電による電力を使用することにより、使用電力の大幅な削減が可能

3. 契約満了後に無償譲渡

契約期間終了後には0円で太陽光発電設備をお客さまに譲渡

配当について

当社は、配当の基本方針を次のとおり定めております。

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く
連結配当性向30%を目途として配当を行います。

年間配当金

20円

(前期と同額)



当期は新型コロナウイルス感染症の影響により固定資産の減損損失を計上しておりますが、当該損失の影響につきましても当期の利益配分の基準となる原資から控除しております。

当期の期末配当につきましても、配当の基本方針及び上記に基づき1株当たり10円といたしました。この結果、当期の年間配当金は中間配当金10円と合わせ、1株当たり20円となります。

なお、為替予約に係るデリバティブ評価損益及び減損損失の影響を除いた連結配当性向は30.9%です。

次期の連結業績予想について

売上高、営業利益につきましてはカーライフサポート事業における新車販売台数の増加や、プロパティ事業における分譲マンションの販売などにより増加する見込みです。なお、為替予約に係るデリバティブ評価損益を織り込んでいないため、経常利益は減少する見込みです。

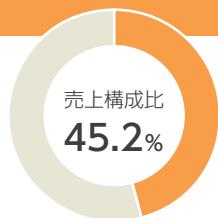
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
2020年11月期	211,702	5,940	7,357	3,493
2021年11月期 (予想)	220,000	6,000	6,500	4,300
増減率	3.9%	1.0%	△11.7%	23.1%

なお、計画どおり推移しますと、売上高及び営業利益は過去最高となる見込みです。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業セグメント別の概況

エネルギー&ソリューションズ事業



売上高	95,723 百万円	(前期比 3.2%減)	📉
営業利益	2,992 百万円	(前期比 7.4%減)	📉



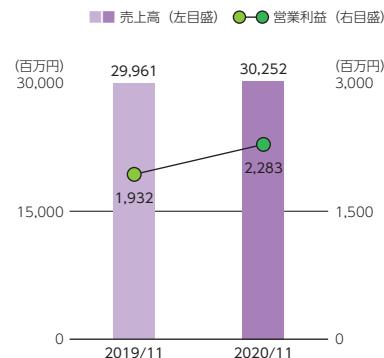
業績の概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響により既存取引先の業務用、工業用のガス販売量が減少しました。また、原料価格の低下に伴い都市ガス、LPガスの販売価格を調整したため売上高は減少しました。
- 都市ガス、LPガスともに業務用などの販売量が減少したことにより営業利益は減少しました。
- ◆ 従来の商品、サービス別の提案からお客さまの暮らしにおける課題を解決する問題解決型の提案へ変革を図ります。

エンジニアリング&メンテナンス事業



売上高	30,252 百万円	(前期比 1.0%増)	📈
営業利益	2,283 百万円	(前期比 18.2%増)	📈
		過去最高	



業績の概要

- 設備工事部門において空調設備工事などの完成工事が大幅に増加したため、売上高は増加しました。
- 設備工事部門の完成工事高の増加に加え、各部門において利益率が高い水準を維持したことから営業利益は増加しました。
- ◆ お客さまとの接点機会の強化及びセグメント内の連携強化による最適なソリューション提案により、お客さまとの強固な関係づくりに注力します。

ハウジング事業



売上高 **35,690**百万円 (前期比 1.0%増)

過去最高

営業利益 **462**百万円 (前期比 50.8%増)



業績の概要

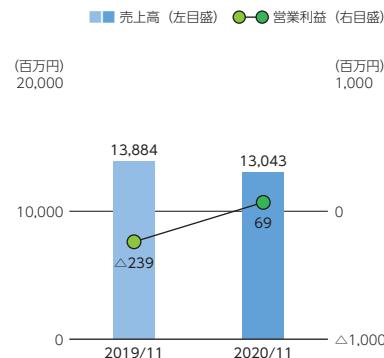
- 新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に受注に影響が生じましたが、その後、営業活動を再開したことにより注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数は増加しました。
- 2019年6月に連結子会社化した(株)宮下工務店の通期実績が加わり、業績に寄与しました。
- ◆ アレルギーに配慮した住まいなど強みを活かした注文住宅の販売を強化します。また、エリア特性を活かした商品企画と在庫回転率の改善により分譲住宅の収益力の強化を図ります。

カーライフサポート事業



売上高 **13,043**百万円 (前期比 6.1%減)

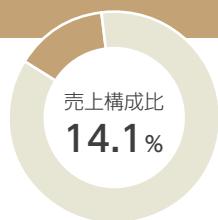
営業利益 **69**百万円
(前期は営業利益△239百万円)



業績の概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響によりショールームへの来店客数が減少し、フォルクスワーゲンの新車販売台数が減少しました。
- サービス部門の生産性向上に取り組んだことにより売上総利益が増加するとともに、販売費及び一般管理費の削減に努めたことから営業利益は増加しました。
- ◆ 次期はフォルクスワーゲン、アウディとともに主力車種のフルモデルチェンジ効果による新車販売台数の増加を見込んでいます。

アニマルヘルスケア事業



売上高 **29,789**百万円 (前期比 8.1%増)

過去最高

営業利益 **698**百万円 (前期比 39.8%増)

過去最高



業績の概要

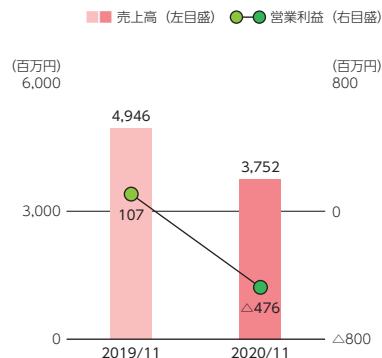
- 畜産部門、ペット関連部門ともに動物用医薬品の販売は好調に推移しました。
- 2019年9月に連結子会社化した(株)エイ・エム・アイ及びホクヤク(株)の通期実績が加わり、業績に寄与しました。
- ◆ 営業拠点の統廃合、新規出店並びに重点エリアにおけるM&Aに取り組み、事業規模の拡大を図ります。また、コンサルティング営業の強化、IT活用による管理業務の効率化に取り組みます。

プロパティ事業



売上高 **3,752**百万円 (前期比 24.1%減)

営業利益 **△476**百万円
(前期は営業利益107百万円)



業績の概要

- 不動産仲介部門は大型物件が減少したため、手数料収入が減少しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期間続いたことから、ホスピタリティ部門の宴会、ブライダルの実績が減少しました。また、スポーツクラブの会費収入が減少しました。
- ◆ 豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業を通じて、「食・健康・学び」をテーマとした交流拠点の運営を開始します。

連結決算の概況

連結貸借対照表(要旨)

[単位:百万円]

科目	当期	前期
	2020年11月30日	2019年11月30日
資産の部		
流動資産	79,940	84,019
固定資産	108,070	111,097
有形固定資産	84,404	87,100
無形固定資産	1,627	1,865
投資その他の資産	22,038	22,131
1 資産合計	188,011	195,117
負債の部		
流動負債	61,964	77,030
固定負債	64,338	58,419
2 負債合計	126,302	135,449

[単位:百万円]

科目	当期	前期
	2020年11月30日	2019年11月30日
純資産の部		
株主資本	60,490	57,874
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,169	25,183
利益剰余金	29,423	27,316
自己株式	△2,126	△2,649
その他の包括利益累計額	△63	634
その他有価証券評価差額金	725	929
繰延ヘッジ損益	23	64
退職給付に係る調整累計額	△812	△358
非支配株主持分	1,281	1,158
3 純資産合計	61,708	59,667
負債純資産合計	188,011	195,117

連結決算のポイント

1 資産

資産は188,011百万円と、前期末と比較して7,105百万円減少しました。これは主に、「有形固定資産」が2,695百万円減少したこと、「受取手形及び売掛金」が2,295百万円減少したこと、流動資産の「その他」が1,011百万円減少したことによるものです。

2 負債

負債は126,302百万円と、前期末と比較して9,147百万円減少しました。これは主に、「短期借入金」が6,961百万円減少したこと、「支払手形及び買掛金」が4,936百万円減少したことによるものです。

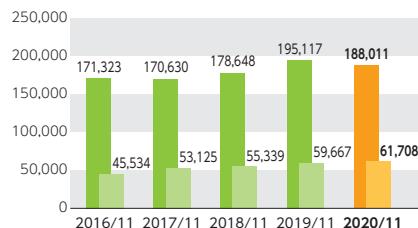
3 純資産

純資産は61,708百万円と、前期末と比較して2,041百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が2,107百万円増加(親会社株主に帰属する当期純利益の計上により3,493百万円増加、配当の実施により1,386百万円減少)したことによるものです。

財務ハイライト

総資産・純資産

■ 総資産 ■ 純資産 (単位:百万円)



1株当たり純資産

(単位:円)



自己資本比率

(単位:%)



連結損益計算書(要旨)

[単位:百万円]

科目	当期	前期
	2019年12月1日～ 2020年11月30日	2018年12月1日～ 2019年11月30日
4 売上高	211,702	213,810
売上原価	155,011	158,516
売上総利益	56,690	55,293
販売費及び一般管理費	50,750	49,736
5 営業利益	5,940	5,557
営業外収益	1,710	2,515
営業外費用	293	262
6 経常利益	7,357	7,809
特別利益	251	104
特別損失	1,685	454
税金等調整前当期純利益	5,923	7,459
法人税、住民税及び事業税	2,391	2,792
法人税等調整額	△84	△253
当期純利益	3,615	4,919
非支配株主に帰属する当期純利益	122	36
6 親会社株主に帰属する当期純利益	3,493	4,883

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

[単位:百万円]

科目	当期	前期
	2019年12月1日～ 2020年11月30日	2018年12月1日～ 2019年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,791	7,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,120	△10,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,861	6,345
現金及び現金同等物の増減額	△189	3,570
現金及び現金同等物の期首残高	21,788	18,218
現金及び現金同等物の期末残高	21,598	21,788

(注) 2020年11月期の期首より、退職給付に係る未認識数計算上の差異の費用処理方法を主として定率法から定額法へ変更したため、前期の数値は遡及適用後の数値を記載しています。

4 売上高

エンジニアリング&メンテナンス事業、ハウジング事業及びアニマルヘルスケア事業は増収となる一方で、エネルギー&ソリューションズ事業が減収となったことから売上高は211,702百万円(前期比1.0%減少)となりました。

5 営業利益

エネルギー&ソリューションズ事業及びプロパティ事業は減収となりましたが、その他のセグメントは増益となったため営業利益は5,940百万円(前期比6.9%増加)となりました。

6 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益は為替予約に係るデリバティブ評価益の縮小により7,357百万円(前期比5.8%減少)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は固定資産の減損損失1,370百万円の計上により、3,493百万円(前期比28.5%減少)となりました。

売上高営業利益率

(単位: %)



1株当たり当期純利益

(単位: 円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



まちの賑わいづくり

サーラグループが参画する豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業の施設全体名称が、「emCAMPUS(エムキャンパス)」に決定しました。

同事業は、「みんなが主役となり、つながりを生み出すまちの拠点をつくる」をコンセプトとし、「食・健康・学び」をテーマに新たなまちの賑わいづくりを目指しています。サーラグループは、同事業において1階、5階及び6階以上のマンションエリアについて主体的に開発に携わっています。

なお、同事業は東棟、西棟及び両棟をつなぐ広場で構成され、東棟と広場は2021年7月に竣工し、秋頃のオープンを予定しています。また、西棟は2024年の完成を予定しています。

1階 食の発信拠点

東三河の食の魅力を発信する拠点として、市場(マーケット)、食堂(フードホール)、広場(パブリックキッチン)で構成され、豊かな食材を提供するだけでなく、食の価値をリアル及びオンラインで発信し、東三河発の新しい食文化の創造を目指します。また、食分野における革新や社会課題の解決を目指すクリエイターの発掘、育成により東三河を食の聖地とすることを目的とする「東三河フードバレー構想」の実証基盤としての機能を有しています。

5階 スタジオ

セミナールーム、シェアオフィス、サロンスペース等を設け、様々な企業や地元大学と提携し、人の交流を通じて新たな学びや事業創造の場となることを目指します。

6-24階 マンション

生活に便利な機能や、健康、医療及び介護の相談など、将来にわたり快適に安心して住まうことができるように様々なプログラムを充実させる予定です。

“食・健康・学びを楽しみ、つながる
「笑む」に満ちたキャンパス”



名称の「e」はEat(食)、Education(学び)、Energy(健康)という施設のコンセプトを意味し、Mikawa(三河)の「m」とつなげ、笑みやEast Mikawa(東三河)、EkiMae(駅前)を表しています。



東棟の完成予想図

浜松エリアにおける サーラブランドのさらなる浸透

サーラグループは、静岡県浜松市が公募していました浜松市市民音楽ホール（2021年6月開館予定）のネーミングライツ（施設命名権）を取得しました。これにより、2021年6月1日から5年間、同施設の愛称は「サーラ音楽ホール」となります。

同施設は、浜松市民の音楽文化活動や学習成果などを発表する機会の創出による文化振興を目的として、現在、建設が進められています。サーラグループは、音楽のまち・浜松における市民の文化活動を支える取組みを通じて、同エリアにおけるサーラブランドのさらなる浸透を目指します。

また、2020年11月にサーラグループのTVCMの放映を開始し、知名度の向上に取り組んでいます。



サーラグループTVCM

除湿による睡眠効率の向上を実証 ～サーラ住宅～

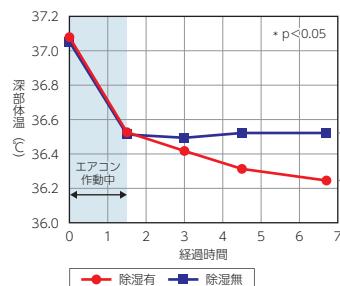
サーラ住宅(株)は、国立大学法人豊橋技術科学大学と共同で、戸建て住宅における夏の除湿空間が睡眠効率に与える影響について検証を行いました。その結果、就寝1.5時間でエアコンを停止した後、室温が28℃～29℃に上昇した際も湿度を50%に維持することにより、深部体温は低下を続け睡眠効率が向上することを実証しました。

実証実験は同社の全館調湿換気システムを搭載した商品「Best-air（ベストエア）」を採用した展示場（お泊りハウス）で行われました。除湿の有無による被験者の皮膚温や深部体温などのデータを収集し、検証結果を得ています。

サーラ住宅(株)は、これまで「外断熱・二重通気工法」や耐震金物「スーパージョイント」など同社の主要技術において同大学と共同研究を行っており、その成果を技術開発や商品の品質向上に活かしています。



実証実験が行われたお泊りハウス
（豊橋牟呂町展示場／愛知県豊橋市）



会社一覧 (2021年2月1日現在)

サーラグループは、当社、当社連結子会社38社及び非連結子会社7社で構成されています。

サーラグループ各社は、今後も共通の基本理念の下、互いに連携し、より一層お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開していきます。

エネルギー&ソリューションズ事業

事業内容 都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

事業エリア 愛知、静岡、岐阜、神奈川など1都11県

サーラエナジー(株)
サーラE&Lサポート(株)
(株)リビングサーラ

サーラE&L東三河(株)
サーラエナジー(株)
サーラの水(株)

サーラE&L浜松(株)
サーラeパワー(株)
三河湾ガスターミナル(株)

サーラE&L名古屋(株)
グッドライフサーラ関東(株)
(株)日興

サーラE&L静岡(株)
サーラ物流(株)
神野オイルセンター(株)

※非連結子会社3社

エンジニアリング&メンテナンス事業

事業内容 設備事業、土木事業、建築事業、
情報通信事業、メンテナンス事業

事業エリア 愛知、静岡、東京、宮城

(株)中部
(株)鈴木組
テクノシステム(株)

神野建設(株)
(株)中部技術サービス
西遠コンクリート工業(株)

※非連結子会社4社

ハウジング事業

事業内容 注文住宅の請負、分譲住宅の販売、
建築資材・住設機器等の販売

事業エリア 愛知、静岡、三重、神奈川

サーラ住宅(株)
太陽ハウジング(株)
サーラハウスサポート(株)

中部ホームサービス(株)
(株)宮下工務店
エコホームパネル(株)

カーライフサポート事業

事業内容 フォルクスワーゲン8店舗・アウディ3店舗(正規ディーラー)、
車検・整備、オートリース

事業エリア 愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン(株)

アニマルヘルスケア事業

事業内容 ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、畜産用機械設備、
小動物医療機器の販売

事業エリア 愛知、埼玉、広島、宮城など1道1都2府15県

(株)アスコ
ホクヤク(株)

(株)エイ・エム・アイ
大和医薬品工業(株)

プロパティ事業

事業内容 不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

事業エリア 愛知、静岡

中部ガス不動産(株)
(株)サーラホテル&レストランズ

サーラスポーツ(株)

その他の事業

事業内容 割賦販売及びリース、情報処理 等

事業エリア 愛知、静岡

サーラフィナンシャルサービス(株) (株)サーラビジネスソリューションズ
新協技研(株)

会社の概要及び株式の状況 (2020年11月30日現在)

商号	株式会社 サラコーポレーション
設立	2002年5月1日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サラタワー
資本金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

役員	代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO	神野 吾郎
	代表取締役専務	松井 和彦
	取締役	鳥居 裕
	取締役	山口 信仁
	取締役	樽林 孝尚
	社外取締役	一柳 良雄
	社外取締役	大久保和孝
	取締役(常勤監査等委員)	山本 卓治
	社外取締役(監査等委員)	杉井 孝
	社外取締役(監査等委員)	村松奈緒美

従業員数 4,059名(連結)

発行可能株式総数 120,000,000株

発行済株式総数 66,041,147株
(自己株式10,251株を含む)

1単元の株式数 100株

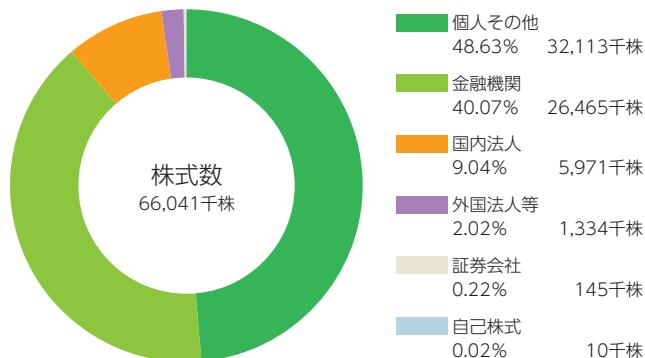
株主数 13,403名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
サラコーポレーション従業員持株会	4,695	7.11
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,973	4.50
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
サラエナジー共栄会	2,157	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,622	2.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,518	2.29
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
神野吾郎	1,336	2.02

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度

12月1日～翌年11月30日

定時株主総会

毎年2月

基準日

定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日
中間配当 5月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 **0120-782-031**

取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法

電子公告（当社ホームページに掲載します）

<https://www.sala.jp/>

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

住所変更など各種事務手続きに関するお問い合わせ先

◎証券会社に口座を開設されている株主さまは、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

◎証券会社に口座がないため特別口座で株式を保有されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社（下記お問い合わせ先）にお問い合わせください。

未払い配当金のお受け取りに関するお問い合わせ先

◎株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社（下記お問い合わせ先）にお申し出ください。

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社

 **0120-782-031** (通話料無料)

受付時間：土・日・休日・年末年始を除く午前9時～午後5時

お問い合わせ先

株式会社 サラコーポレーション

総務部 総務グループ ☎0532-51-1182 E-mail : ir@sala.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。